

会津の四季に魅せられて

「会津」と聞いて、あなたは何を想像しますか？

- ①歴史の好きな人は、鶴ヶ城（会津若松）や戊辰戦争でしょうか。
- ②自然の好きな人は、猪苗代湖や会津磐梯山でしょうか。
- ③グルメの人は、ソースかつ丼（柳津）やラーメン（喜多方・会津坂下）ですか。
- ④日本酒では（私は下戸ですが）、「国権」（南会津町）、「会津娘」（会津若松市）が有名です。
- ⑤街並みが好きな人には、大内宿（下郷）や前沢曲家集落（南会津）があります。会津若松は城下町、喜多方は蔵の町です。
- ⑥寺社では、福満虚空藏尊 圓藏寺（柳津町）が有名です。
- ⑦祭り好きには、祇園祭（会津田島）や会津藩公行列があります。桧枝岐歌舞伎も見逃せません。
- ⑧鉄道好きには（私は乗り鉄ですが）、秘境を走る JR 只見線（水害で会津川口駅～只見駅が現在も不通）や会津鉄道があります。東京浅草駅から会津田島駅まで、東武鉄道の快速リバティが結んでいます
- ⑨温泉好きには、東山温泉（会津若松）や芦ノ牧温泉・湯野上温泉があります。
- ⑩スポーツ好きには、各地にスキー場があります。
- ⑪冬は豪雪地帯、只見町や三島町では雪祭りがあります。
- ⑬人物では、野口英世や新島八重（八重の桜一綾瀬はるか）がいます。
- ⑬最後は、何と言っても尾瀬（尾瀬沼）でしょう。これが会津の止めです。

会津、そこには、失われた日本の原風景があります。そこには山河があつて、里には田・畑が広がります。畑一面に咲くソバの花もきれいです。地元の神社や寺も目立ちます。冬は豪雪地帯、自給自足で、地域で助け合って生活します。私は、そんな会津の四季に魅せられました。

福島第一原発の事故で、檜葉町民は会津美里町に避難

3・11の福島第一原発事故で、30km圏内の檜葉町の避難者は、姉妹都市である会津美里町に避難しました。会津美里町や湯野上温泉の人達は、檜葉町の避難者を迎えて、心からもてなしてくれました。檜葉町町民は、今でも会津美里町の皆さんに感謝をしています。しかし、浜通りにある檜葉町は、雪は降ってもほとんど積もりません。会津美里町は豪雪地帯です。避難者は自動車教習所で、雪道の自動車運転（3無い運転—急発進・急ブレーキ・急ハンドル）を練習しました。しかし、一冬を過ごした檜葉町民の多くは、雪との生活になじめなくて、いわき市の仮設住宅に移ってしまいました。

長沢広明復興副大臣（公明党）一議員宿舎に女性を泊めていて辞任（9月26日）—女性を泊めるなら仮設住宅に泊めてみろ。仮設住宅にはプライバシーは無いんだぞ！

【祇園祭の七行器行列（花嫁行列）（会津田島）】



【下野（しもつけ）街道の宿場町一大内宿（下郷町）】

